



平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 14 日

上場会社名 レシップ株式会社 上場取引所 東証二部・名証二部・JASDAQ
 コード番号 7213 URL <http://www.lecip.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 眞
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 山口 芳典 TEL 058-323-7647

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	13,276	10.9	915	66.3	908	62.7	565	75.4
19年3月期第3四半期	11,968	△7.3	550	△41.3	558	△41.1	322	△43.0
19年3月期	17,572	—	1,189	—	1,191	—	668	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	88	56	—	—
19年3月期第3四半期	50	49	—	—
19年3月期	104	68	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第3四半期	11,248	4,878	43.4	763	48
19年3月期第3四半期	11,481	4,059	35.4	635	16
19年3月期	11,533	4,408	38.2	689	82

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	231	△250	△567	494
19年3月期第3四半期	△420	△297	308	467
19年3月期	925	△429	△303	1,074

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	17,770	1.1	1,200	0.9	1,190	△0.1	690	3.1	107	97

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成 19 年 11 月 14 日付当社「平成 20 年 3 月期 中間決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想に内在する不確定要因や、この後の事業運営における状況の変化等により、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）のわが国経済においては、サブプライムローン問題の影響による金融不安や、円高の進行並びに原油価格、原材料価格の高騰等の不安材料により先行きの不透明感が増加いたしました。

このような状況の中、当社グループの当第 3 四半期の業績は、S&D 事業におきまして、主力の国内巻線式ネオン変圧器の需要減少に歯止めがかからず、売上高を減少させましたほか、拡販製品としております屋外蛍光灯看板用電子安定器の市場導入が遅れをきたし、同様に売上高を減少させました。一方で輸送機器事業におきましては、引き続き、首都圏向けにバス用 IC カードシステムの納入が拡大したことで併せ、首都圏以外の地域におきましても IC カード導入の流れが拡大しており、同製品の売上が大幅に増加いたしました。産業機器事業におきましては、連結子会社レシップ電子株式会社での小型液晶パネルの組立て生産やプリント基板実装の売上が委託先の事業再編や在庫調整等の影響により大きく減少いたしましたものの、前年第 4 四半期から本格納入を開始した物販共用読み取り端末が電子マネーの普及も追い風となり好調に推移したことと併せ、環境への意識の高まりからバッテリー式フォークリフト用充電器の販売も増加いたしました。

この結果、売上高は 132 億 76 百万円（前年同期比 10.9%増）となり、第 3 四半期の過去最高売上高を更新いたしました。

また、損益につきましては、銅価格及びタイ・パーツの高止まりが利益を圧迫する要因となりましたほか、売上高の増加に伴う運賃等販売費及び一般管理費の増加がありましたものの、相対的に利益率の良い売上商品構成となりましたことと併せ、積極的な原価低減活動が売上原価率の低減につながることで結果、営業利益は 9 億 15 百万円（同 66.3%増）、経常利益は 9 億 8 百万円（同 62.7%増）、四半期純利益は 5 億 65 百万円（同 75.4%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産・負債・純資産等の状況

当第 3 四半期末における総資産は、112 億 48 百万円（前年同期比 2 億 32 百万円の減少）となりました。

流動資産につきましては、受注増に伴い棚卸資産が増加いたしました。売上債権の回収増などから、83 億 63 百万円（同 64 百万円の減少）となりました。

固定資産につきましては、主に有形固定資産の減価償却などにより、28 億 85 百万円（同 1 億 68 百万円の減少）となりました。

負債につきましては、仕入債務が減少するとともに、借入金を積極的に返済いたしましたことなどから、負債合計は 63 億 69 百万円（同 10 億 52 百万円の減少）となりました。

純資産につきましては、主に利益剰余金が増加いたしましたことなどにより、48 億 78 百万円（同 8 億 19 百万円の増加）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末に対し 5 億 80 百万円減少し、4 億 94 百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第 3 四半期において営業活動の結果増加した資金は 2 億 31 百万円（前年同期は 4 億 20 百万円の減少）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上 9 億 9 百万円などにより資金が増加したことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第 3 四半期において投資活動の結果減少した資金は 2 億 50 百万円(前年同期は 2 億 97 百万円の減少)となりました。これは主に金型を中心とした有形固定資産の取得 2 億 75 百万円などにより、資金が減少したことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第 3 四半期において財務活動の結果減少した資金は 5 億 67 百万円(前年同期は 3 億 8 百万円の増加)となりました。これは主に長期・短期借入金の返済 4 億 69 百万円、及び配当金の支払い 96 百万円等があったことなどによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第 3 四半期は前第 3 四半期と比較して増収増益となりましたが、概ね当初の計画どおりに推移しており、平成 19 年 11 月 14 日付当社「平成 20 年 3 月期 中間決算短信」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用については法定実効税率による簡便な方法を採用しております。

その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便な手続きを用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

・減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は従来の方法に比べ、12,439 千円減少しております。

(追加情報)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、平成 19 年 3 月 31 日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の 5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より取得価額の 5%相当額と備忘価額との差額を 5 年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。

この結果、従来の方法に比べ、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ 17,799 千円減少しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成19年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	587	564	△23	△3.9	1,194
受取手形及び売掛金	5,063	4,992	△70	△1.4	5,109
たな卸資産	2,097	2,292	194	9.3	1,587
その他	679	513	△165	△24.4	637
流動資産合計	8,427	8,363	△64	△0.8	8,529
II 固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物	1,422	1,345	△77	△5.4	1,402
工具器具備品	425	344	△81	△19.0	392
その他	498	487	△10	△2.2	493
有形固定資産計	2,346	2,177	△169	△7.2	2,287
無形固定資産	89	69	△19	△22.1	83
投資その他の資産	617	638	20	3.3	632
固定資産合計	3,053	2,885	△168	△5.5	3,003
資産合計	11,481	11,248	△232	△2.0	11,533
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び買掛金	3,573	3,430	△142	△4.0	3,392
短期借入金	1,719	828	△890	△51.8	1,168
1年以内返済予定の 長期借入金	139	139	—	—	143
賞与引当金	165	194	28	17.3	366
役員賞与引当金	29	29	0	0.7	62
製品保証引当金	55	69	14	26.2	52
その他	742	823	80	10.9	981
流動負債合計	6,425	5,516	△909	△14.1	6,167
II 固定負債					
長期借入金	678	538	△139	△20.6	640
退職給付引当金	7	9	1	23.4	7
その他	311	305	△5	△1.8	309
固定負債合計	997	853	△143	△14.4	957
負債合計	7,422	6,369	△1,052	△14.2	7,124

レシップ㈱(7213) 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成19年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	735	735	—	—	735
資本剰余金	719	719	—	—	719
利益剰余金	2,601	3,418	816	31.4	2,948
自己株式	△14	△14	0	2.1	△14
株主資本合計	4,042	4,858	816	20.2	4,388
II 評価・換算差額等					
その他有価証券 評価差額金	65	68	2	3.5	66
為替換算調整勘定	△49	△47	1	△3.1	△46
評価・換算差額等合計	16	20	3	23.7	19
純資産合計	4,059	4,878	819	20.2	4,408
負債、純資産合計	11,481	11,248	△232	△2.0	11,533

(2) 要約連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成19年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	11,968	13,276	1,308	10.9	17,572
II 売上原価	9,176	9,872	695	7.6	13,258
売上総利益	2,791	3,403	612	21.9	4,313
III 販売費及び一般管理費	2,240	2,488	247	11.0	3,124
営業利益	550	915	364	66.3	1,189
IV 営業外収益	54	44	△10	△18.3	72
(うち受取利息及び配 当金)	2	3	0	19.6	2
V 営業外費用	47	52	4	10.3	70
(うち支払利息)	29	26	△3	△11.8	39
経常利益	558	908	349	62.7	1,191
VI 特別利益	41	10	△31	△75.4	44
VII 特別損失	24	8	△16	△65.8	29
税金等調整前四半期(当 期)純利益	574	909	335	58.3	1,205
税金費用	251	343	91	36.4	536
四半期(当期)純利益	322	565	243	75.4	668

(3) 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 平成19年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	574	909	1,205
減価償却費	337	341	466
賞与引当金の増減額(減少：△)	△165	△172	35
役員賞与引当金の増減額(減少：△)	—	△33	—
製品保証引当金の増減額(減少：△)	△1	17	△4
役員退職慰労引当金の増減額(減少：△)	—	—	62
受取利息及び受取配当金	△2	△3	△2
支払利息	29	26	39
固定資産売却損益等	2	5	9
売上債権の増減額(増加：△)	△702	132	△728
たな卸資産の増減額(増加：△)	△451	△701	△58
仕入債務の増減額(減少：△)	656	113	559
役員賞与の支払額	△62	—	△62
その他	△99	223	△51
小 計	114	860	1,470
利息及び配当金の受取額	2	2	1
利息の支払額	△28	△22	△37
法人税等の支払額	△509	△609	△509
営業活動によるキャッシュ・フロー	△420	231	925
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△325	△275	△442
有形固定資産の売却による収入	4	1	10
関係会社株式の売却による収入	39	—	39
その他	△16	22	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△297	△250	△429
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少：△)	1,259	△365	681
長期借入金の返済による支出	△167	△104	△202
社債の償還による支出	△700	—	△700
自己株式の取得による支出	△3	0	△3
配当金の支払額	△79	△96	△78
財務活動によるキャッシュ・フロー	308	△567	△303
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	4	5	9
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△405	△580	201
VI 現金及び現金同等物の期首残高	873	1,074	873
VII 現金及び現金同等物の期末残高	467	494	1,074